

日新  
 苟日新 まこと ひ あら 日に新たに  
 日日新 ひ ひ あら 日々に新たに  
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり  
 出典 「大学」

日新地区だより 34号



ゆめ  
 にっしん

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：地域の誇り・まちづくり日新広報部  
 福井市文京5丁目1-8日新公民館  
 発行日：平成27年(2015年)6月20日

# さんさんバス 本格運行へ GO!

## 住民一体の行動が実を結ぶ

日新地区最大の懸案事項だった「日新さんさんバス」が、本格運行になり、今後3年間は、乗車人数との戦いから開放される事になりました。

平成24年11月に運行を開始した「さんさんバス」は、試行運行開始当初から約1年半の間、月400人台の乗車人数を数回記録したものの、恒常的に低迷が続き、本格運行が危ぶまれる状態でした。そこで、交通部会では、それまでの実績を基に検討を重ね、昨年5月に運行コースと運行時間の変更を断行。対応が功を奏し、その後乗車人数は順調に伸び続け、本年10月からの本格運行が実現したものです。交通部会を中心とした努力の成果ですが、それを支えたのは住民の皆さんの協力であったことは言うまでもありません。まさしく住民が一体となって取り組んだ成果と言えるでしょう。



青空のもとエンジン音も軽やかに

### 日常生活に取り込みましょう

これから3年間は、乗車人数に関係なくバスの運行は続きますが、3年後の更新時には、今回のような運行継続運動は避けなければなりません。そのためには、日常的に生活の足として「さんさんバス」を利用し、乗車人数の増加を図っていくことが肝要なのです。交通部会では、「その方策を早急に立案し、実行していく」としていますが、同時に「住民の皆さんのさらなる協力をお願いします」と呼びかけています。

### 自治会単独で利用促進チラシ

乾徳第7自治会(宮崎会長)で、自治会単位では初の『さんさんバスを利用しましょう!』と呼び掛けるチラシを配布しました。下に掲載してあるのはその一部で、原物はA4版となっています。この文章のあとに、バスの運行や料金などについて書かれており、最後に「暮らしに役立つ足としてどんどん利用して『日新さんさんバス』を地域に根付かせましょう!」と結んでいます。

こうした地区住民の皆さんの自発的活動について、交通部会長の山口満さんは、「とても嬉しいです。これからの活動の大きな力になります。」と感激していました。

「日新さんさんバス」を利用しましょう!  
 いつもの病院に 日新さんさんバス で  
 お買い物に 日新さんさんバス で  
 お食事に 日新さんさんバス で  
 公民館にも 日新さんさんバス で

## 祝 10月からの 本格運行実施確定!

交通部会

部会長 山口 満

5月21日、市役所で日新コミュニティバスについての審査会議(地域生活交通活性化対策会議)が開かれ、10月からの「日新さんさんバス」本格運行が承認された旨連絡を頂きました。

これはひとえに地域住民の皆さんはじめ、「さんさん会」やまち



昨年5月10日再出発日

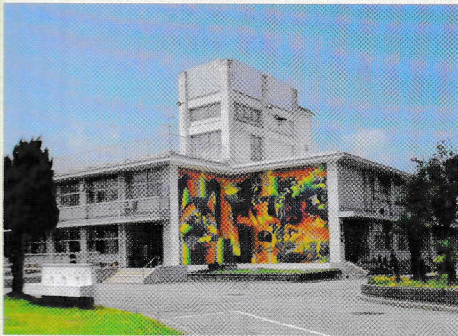
づくり役員のみなさんの力強いご協力の結果と思います。本当に有難く、心よりお礼を申し上げます。これまで長い長い日々でした。途中、数多くのいろいろな障害、トラブル、問題などがありましたが、今ではそれらは良き思い出の1コマです。過去の事柄、出来事はともかくとし、今迄の事柄を振り返ることなく、明日に向かって私たちは、歩き続けなければなりません。超高齢化時代を真近に控えて、安心できるやさしい街づくりのためにです。

私たち交通部会一同は、次のような事柄を達成するため、なお一層励み努力を重ねていくつもりです。その一つ目は、高齢者が住みやすいやさしい街づくりのために…そして二つ目は、フレンドリーなより良い人間関係確立のために…三つ目は、三世代の橋わたしが出来るように…最後に、活発な活動フォローや手助けをするために…。皆さんのより一層のご協力をお願いします。(次の頁に「お便りコーナー」があります)

# 「こんにちは！附属特別支援学校です。」

福井大学教育地域科学部附属特別支援学校 副校長 山口 満

本校は、昭和46年4月に知的障害児を対象とした県下で最初の養護学校(平成19年4月に「特別支援学校」に校名変更)として開校し、昭和47年12月に八ツ島町の現在地に校舎が完成しました。



昭和50年3月、校舎の壁に大きな壁画「平和の楽園」が描かれ、本校のシンボルとなっています。

平成26年9月には校舎改修・増築工事が完了し、現在、本校には小学部、中学部、高等部合わせて61名の児童生徒が在籍しております。

本校では、小学部・中学部・高等部の12カ年間を通した「生活教育」を推進し、子ども一人一人に合わせた個別指導やグループ指導を行うとともに、小学部から高等部まで縦割り集団で、アウトドア活動やウッド・クラフトなどの活動を行う「レインボータイム」を実施しております。また、福井大学の附属学

校として教員養成、障害児教育の理論及び実践の研究を行っており、研究集会等で広く全国に研究成果を発信しております。

日新地区の皆様には、今後もいろいろな場面でご支援、ご協力をお願いすると思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

～参考資料～

壁画「平和の楽園」は、日本の美術家・巖嘯(あい おう)氏が製作しました。茨城県行方市出身、1931年生まれです。

## 「さんさんバス」本格運行 おめでとうございます！

皆さんから喜びの声が届きました…ご紹介します

### 「さんさんバス」で温泉行

大宮5丁目 坂井 まつ子

私は、公民館の行事に参加する時や通院の時、スーパーへ行く時などに「さんさんバス」を利用しています。

また、「さんさん会」の仲間と、毎週月曜日に佐野温泉へ行く時も途中まで「さんさんバス」に乗ります。

賑やかにおしゃべりしている間に温泉に到着。一休みして昼食です。その後お風呂です。源泉かけ流しのお風呂でどっぷりつかり、熱湯を飲むと体が温かくなり、心も体も癒されます。カラオケや踊りでも楽しい時を過ごします。

こんなことが出来るのは、「さんさんバス」があればこそと思っています。ですから、「さんさんバス」の運行が継続されて非常に嬉しいのです。今後も、生き甲斐の「証」として、皆さんとの交流を深め、心のゆとりを持ち続けられるのですからこんなに嬉しい事はありません。



### 嬉しい本格運行

乾徳2丁目 中川 健治

「日新さんさんバス」が今後も長く運行されるとのことで、大変喜んでます。

私たち高齢者になりますと、自転車に乗ることはもちろん歩くことにさえ危険を感じるのです。ですから、公民館

や市立図書館へ行く時、福井駅前へ習い事で出掛ける時などは公共交通機関を利用しているのです。

「さんさんバス」の運行が本格運行となって継続されると聞き大変ありがたいと思っていますが、欲を言わせても

らえるならば、バスの停留所が、もっと数多くあると良いと思います。田原町の医院へ通っている人も多くおられますし、また乾徳郵便局を利用している人も多いためです。

本格運行が決まった早々ですが、停留場について考えていただけるとありがたいと思います。



### バスが繋ぐ人との交流

乾徳3丁目 藪内 芳子

月曜日がやってきました。今では恒例となった佐野温泉行きです。私たち老いた者の足となる「さんさんバス」に乗り、JAで温泉バスに乗り換え11時頃温泉に到着します。ここは天然温泉で、日本でも数少ない「砂風呂」や「岩盤湯」などがあり、皆さん、このお陰で体調も良くなったとのことです。早速入浴し、その後昼食を取りながらの話に花が咲きます。カラオケで懐かしの歌や十八番を楽しむ人たちが、段々と上手に歌えるようになった人、みんなで楽しめます。

「さんさんバス」が継続になったのですから、今後も外に出る機会を作り、多くの方々との交流を深めたいと思っています。それが元気につながり、生き甲斐でもあります。「さんさんバス」ありがとう！



雨にも負けず…(資料写真)

## 27年度の活動

副部長 前川 栄寛

環境部会の27年度は、4月26日(30名参加)の定例清掃を皮切りに活動に入りました。昨年度は、メイン事業の清掃・美化活動はじめ資源の大切さを考えるものづくり体験、環境に関心を持ってもらうための環境学習会などに取り組みました。特に美化維持活動では、福井商業高校生244名や藤島中学生120名も参加してくれました。こうした次代を担う若人の参加は、私たちに大きな“励み”と“力”を与えてくれました。さらに、多くの地区民のボランティアによるご尽力をいただき感謝しています。部会の念願であった美化維持活動の拡がりを感じています。



藤中生ボランティア参加  
(昨年11月)



皇帝ダリア

一方、小学生を中心とする学習会は、「底喰川」の川辺に生える草花、川に生きる水生生物の観察とスケッチを通じて自然観察を行いました。こうした体験学習は、必ず心に残るものと思います。もう一つの体験として「布ぞり」づくりで物の大切さを考えることも実施しました。

27年度も、これらの事業を基本に地域の美化・維持活動の取り組みを予定しています。皆様のご協力をお願いします。なお、左の写真は、26年度の館外研修で訪問した名古屋市中川区の「戸田川発見隊」より親善の証として頂いた『皇帝ダリア』です。3~4mになります。公民館前で育成していますので、是非ご覧下さい。今年は、「戸田川発見隊」の皆さんを6月20日にお迎えし、交流しました。

## 文化部

## 27年度文化部の活動

部長 山崎 豊

今年度の文化部は、昨年と同じ行事をする予定ですが、一つだけでも新しい試みをするつもりです。その内容につきましては後日お知らせします。

今年度の行事内容は、上半期にはまず、7月15日(水)に「伝統文化体験学習支援」を行います。この事業は、日新小学校6年生全員が、お茶の作法や生け花の体験をし、日本の伝統文化を学習するものです。約50名の参加を予定しています。9月5日には、「秋の七草観賞とお月見団子作り」を予定しています。秋の七草を実際に見て、触れて、月見団子を作って食べることで、昔の人たちの遊びを体験します。



生け花の体験中です  
(資料写真)



大勢の人が歩いた昨年の前日祭  
(資料写真)

下半期に入って10月17日(土)は、「公民館まつり前日祭」です。底喰川沿いを徒歩で約30分掛けて一周、そのあとおろし蕎麦を食べ、最後にお楽しみ抽選会をして前日祭は終了します。お正月のあとになりますが、「百人一首かるた会」を開催し、百人一首かるた取りや坊主めくりをします。さらに、日新公民館オリジナルの『日新かるた』でもかるた取りをして、楽しいひと時を過ごします。そして、3月の「三世代合同交流会」で一年間の事業報告をすることになっています。

お気付きと思いますが、文化部会と広報部会が、それぞれ文化部、広報部になりました。交通部会、環境部会、文化・広報部会の3部会制になったからです。ですが、事業内容は今まで通りです。広報部では、昨年度、機関紙「ゆめ・にっしん」の紙面をA4版見開きにし、文字の大きさや間隔も検討しました。読者の皆さんにはいかがでしょうか？ 現在も私たちは試行錯誤を繰り返しており、今年度も継続して見やすさ、読みやすさを追求していきます。また、今年3月から、地区内の医療機関や理美容院のご好意で、「ゆめ・にっしん」のファイルを持合室などに配置させていただいていますが、新しい「ゆめ・にっしん」の発行があるとファイルに追加しなければなりませんので、これも継続して行きます。今年度一番の課題は、公民館のホームページを復活させることです。皆さんが利用しやすいH・Pを何とか再構築していきたいと思っています。

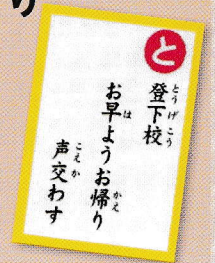
### 広報部

### ホームページ復活を!

部長 勝木 文彦

**日新かるた紹介(8)**  
**登下校 お早ようお帰り 声交わす**

日新地区では、次代を担う青少年の健全育成を図るため活動を行っています。特にあいさつ運動、交通事故の未然防止や見守りを行い、安全安心のまちづくりに取り組んでいます。「郷土の魅力再発見『日新かるた』解説書より」

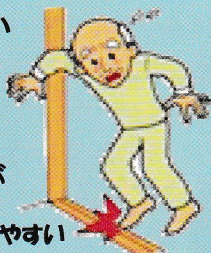


「ロコモ」とは、ロコモティブシンドロームという病気の略称で、和名は運動器症候群と言います。この病気は、骨、関節、筋肉などの運動機能の衰えにより、暮らしの中の自立度が低下し要介護になっていたり、今後、要介護になる危険性が高い状態・症状のことを言います。

注：ロコトレとはロコモーショントレーニングのこと

## あなたは大丈夫？ 7つのロコチェックを！

- 片脚立ちで靴下がはけない
- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 階段を上がるのに手すりが必要である
- 横断歩道を青信号のうちに渡りきれない
- 15分ぐらい続けて歩けない
- 2kg(1%の牛乳パック2個)程度の買い物の品を持って帰るのが困難である
- 掃除機を使ったり、布団の上げ下ろしなどやや重い家事が困難である



つまずきやすい

1つでもあてはまる人は…

ロコトレをしましょう！

## ロコトレの方法 その1

### 【開眼片脚立ち】

片足を床から少し上げ、目を開けたままで立ちます。左右1分間ずつで、1日3回行いましょう。



ふらついた時につかめる机などがある場所でやるのが良いでしょう。

## ロコトレの方法 その2

### 【スクワット】

椅子に腰かけるようにお尻をゆっくり下ろします。お尻を軽く下ろす事から始めて、膝は曲がっても90度を超えないようにします。深呼吸をするペースで5～6回繰り返し、これを1日3回行いましょう。

ご注意：ロコトレは、十分に歩ける人と、よく歩けない人ではやり方が違います。また、痛みを感じたら中止し、医師に相談しましょう。

## 区民体育大会 開催

藤中ボランティアも活躍

乾徳が優勝



第34回日新区民体育大会が、5月17日(日)、絶好の運動会日和の下、日新小学校校庭で開催され、679人による熱戦が繰り広げられました。

午前8時30分、昨年度同点優勝し二連覇を狙う宮島と文里の2チームが、そのあとに乾徳、堀ノ宮の順で入場行進、さわやかな選手宣誓のあと競技開始。選手も応援する人も額に汗して一生懸命頑張っていました。



一方、藤島中吹奏楽部の素晴らしい演奏が、緊張した会場を和ませ、グループや家族の輪に笑顔をもたらしていました。

午後3時すぎ、乾徳チームの優勝で競技は終了しましたが、『一生懸命頑張った人みんなが優勝です』と全参加者を讃えた閉会の辞は、非常に印象的でした。



前日9時から準備に入りました

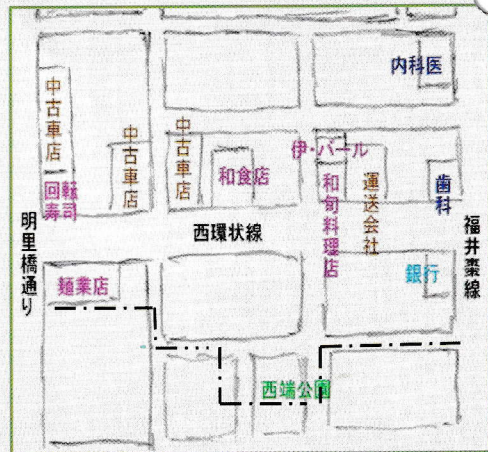
また、大会が円滑に進行し無事終了した陰には、運営スタッフの周到な準備があったからと言えるでしょう。

## わがまち自治会 小さな町に大きな絆

堀ノ宮南自治会長 竹下 治

私たちの町、堀ノ宮南町内会は、東は福井・森線、西は明里橋通りの間にあり、南北は、西循環線を挟んで片側1～2ブロックの広さの町内です。また、大きな建物も無く約70世帯のやや小さな町内です。ですが、内科医や歯科、銀行、中古車販売会社、運送会社、水産会社直営の和食店、和旬料理店に加えてイタリアンバーなど多彩な施設やお店があります。最近では、県外資本の麺業店も進出してきています。

こうした自分たちの住む町内をより良くするためには、そこに住む人たちの課題について話し合い、自主的にそして自発的に協力し取り組むことが必要だと思います。



堀ノ宮南自治会エリアマップ

少子高齢化が年々進むなど私たちの町内においても時代は変わっていきますが、人と人とのコミュニケーションを大切に、また町内の防犯パトロールを継続していくなどして、より安全安心なまちを目指して頑張っていきます。みなさんのより一層のご協力をお願いします。